

米国で乳牛の高病原性鳥インフルエンザウイルスの感染を確認

米国において、乳牛の高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）ウイルスの感染が確認されました。（4月8日までに6州15農場）

また4月1日、HPAIウイルスの感染が疑われる乳牛と接触のあった人への感染事例（結膜炎のちに回復傾向）の報告がありました。

（一般市民の健康リスクは依然として低いとされています）

○原因 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N1亜型）

○感染源 野鳥が考えられる

○症状

乳量の減少、食欲低下、濃厚/退色した乳、抑うつ、発熱、脱水

○対策

①導入牛の隔離、健康観察

②原因が特定されない乳量の減少、食欲低下を示した牛は獣医師または家畜保健衛生所に相談

③飼養衛生管理基準に基づく基本的な衛生管理の徹底

- ・感染源となる野鳥やネズミなど、野生動物の侵入防止対策
- ・人、物、車等の移動による農場への持込み防止および消毒の徹底
- ・飼槽・牛舎の定期的な清掃および消毒等

（詳しくは家畜保健衛生所または診療獣医師にご相談ください。）

～伝染病から家畜を守りましょう～